

竜田公園 再整備に関する基本計画
(概要版)

平成30年9月

奈良県 公園緑地課

竜田公園の現況

- 公園概要
- 位 置：生駒郡斑鳩町稲葉車瀬 他
- 面 積：14ha（総延長：約2.0km）
- 立 地：斑鳩町の西部に位置する竜田川の河川敷を活用した緑地。（都市公園の分類：都市緑地）
- 歴史
- <平安時代>
- ・古今和歌集や百人一首に歌われるなど、竜田川のモミジは広く知れ渡る。
千早ぶる 神代も聞かず たった川 唐紅に 水くるとは
在原業平『古今集』
- <江戸時代>
- ・竜田城の築城のため、河川の移設改修などにより、モミジは減少するが、廃城後にモミジを再び植栽。景観復元に取り組む。
- <明治～大正>
- ・竜田川保勝会により、楓の大幅な増殖と風致保全を行い、古来のモミジの名所として知られるようになる。
- <昭和>
- ・紀元2600年の記念事業など行われ、年間10万人の観光客が来園される。昭和16年に県立公園（竜田川楓園）として管理される。
- ・河川改修による洪水対策事業が実施される。
- ・都市公園（竜田公園）として供用される。
- <現在>
- ・秋には紅葉祭りなどのイベントが開催され、観光シーズンには、広域から多くの人が訪れる。



現状の問題点		整備への課題	
植栽・景観	○不十分な植栽環境による竜田川のモミジの育成悪化 ○三室山のソメイヨシノの樹勢の衰え ○植栽樹木の成長、常緑樹等の繁茂による展望景観の阻害	植栽景観の育成、展望や見通しの確保	○モミジの性質に配慮した環境改善 ○ソメイヨシノの老木の更新 ○植栽樹木の過成長、下草の繁茂等の景観阻害要因の改善及び視点場の整備
安全性・バリアフリー	○園路舗装、手すり、視覚障害者誘導用ブロック等のバリアフリー整備が不十分 ○河川への転落防止のための生垣の部分的な欠損	安全安心の公園づくり	○安全に通行できる幅員の確保、バリアフリーへの対応 ○安全に考慮した河川への転落防止及び川面への見通しの確保
公園施設の利用状況	○モミジとサクラ以外の時期の利用者が少ない ○高齢者の利用が多く、子供世代の利用者が少ない ○混雑、動線の確保などイベント時への対応が不十分	一年を通じた魅力づくり、幅広い世代が利用できる活気のある公園づくり	○モミジとサクラの時期以外にも一年を通して利用者を誘引する魅力づくり ○高齢者が安心して利用できる空間の創出、景観づくり ○子供の遠足や課外活動の場としての利用促進 ○イベント等、大多数の来訪者に対応した空間整備
施設機能と老朽化	○ベンチ等の休憩施設不足や老朽化 ○公園の情報を提供するサイン等のサービスが不十分	サービス機能の向上	○公園利用者へのおもてなしとしての休憩施設の充実及び老朽化施設の改修 ○来訪者の移動を支援するサイン等の情報提供の機能の充実
観光情報、ネットワーク、アクセス	○法隆寺や藤の木古墳等の知名度の高い観光地との連携や既設定観光ルートとの連携が不十分 ○駐車場の容量不足	周辺観光資源との連携等、アクセス機能の改善	○周辺観光資源との連携 ○公共交通機関への利用促進 ○駅や周辺の公共施設の駐車場との連携及びアクセス強化
維持管理	○施設の維持管理・植栽管理の状況のバラツキ	公園の管理体制の充実	○行政、地元住民、各種団体のパートナーシップ等の仕組みづくり ○コミュニティ花壇の創設や、住民参加の育成プログラム等のソフト施策と連動した仕組みづくり

公園整備の
コンセプト

竜田のモミジ・サクラの景観再生と 公園の安全性・快適性の確保

公園整備
の方針

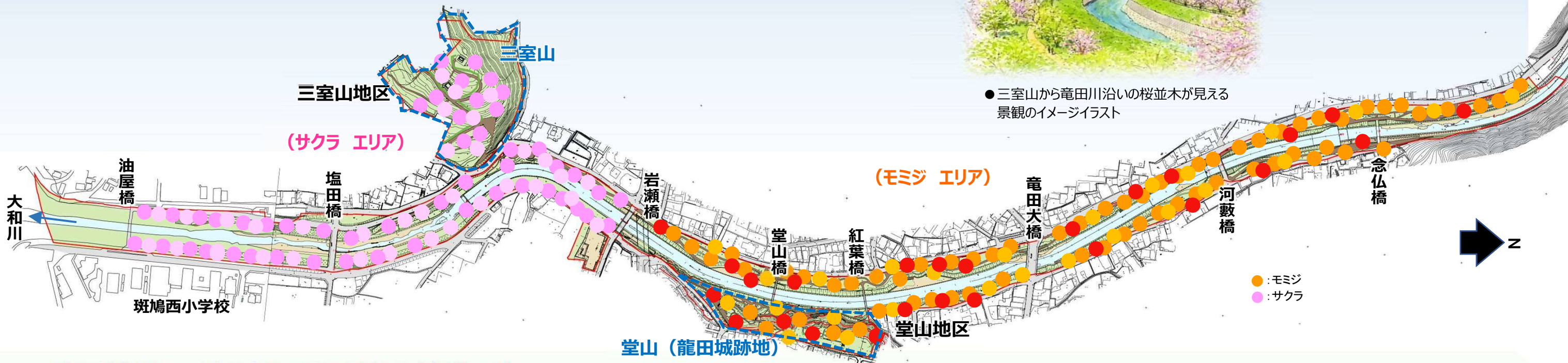
- ① 歴史の香りあふれるモミジとサクラを中心とする景観づくりを行います。
- ② 一年を通じて利用者を誘引する魅力づくりを行います。
- ③ 川沿いの特徴を活かした回遊空間の整備を行います。
- ④ 幅広い世代が利用できる魅力ある公園整備を行います。
- ⑤ 安心して安全に利用出来る公園整備を行います。
- ⑥ 休憩施設や観光情報・サインなどのサービス機能を充実させます。
- ⑦ 地域で守り育てる維持管理の仕組みづくりを構築します。

● 三室山を中心とするサクラの景観再生

整備方針-①

三室山のサクラの景観は、「奈良県景観遺産」に指定されています。このふるさとの風景を後世に継承するため、サクラの生育環境の改善を図り、竜田川沿いも含めサクラエリアとして、現状約350本から約700本（約10m²毎に1本）へサクラを増植・更新し、サクラでいっぱいの景観にします。

また、三室山は下草や中木などが生い茂り、かつての景観を失っているため、竹林・雑木の伐採整理を行い、「サクラの三室山」としての景観再生を図ります。



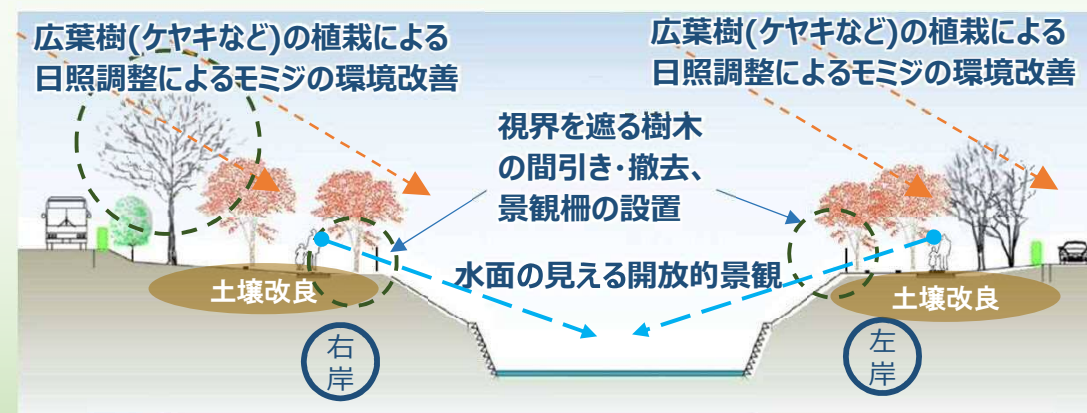
● 竜田川沿い・堂山地区のモミジの景観再生

整備方針-①

竜田川両岸岩瀬橋～念仏橋付近までの約1.2 kmの区間及び堂山地区は、モミジの回廊を創出するため、園路両側にモミジ補植を図ります。

現在、公園内の約620本のモミジを約1,300本（約10m²毎に1本）に補植・更新し、最盛期のモミジでいっぱいの景観を復元し、かつての竜田の賑わいを取り戻します。

併せて、竜田川沿いの園路から見て景観阻害の原因となっている樹木・生垣の撤去・間伐を行い、転落防止機能は見通し確保可能な景観柵へ変更するなど、安心安全で、かつ、開放的な親水景観を創出します。



竜田川沿いのモミジの景観再生のイメージ断面図（岩瀬橋より上流）



● 植栽景観改善による竜田川沿い園路のイメージ

整備方針-①②④

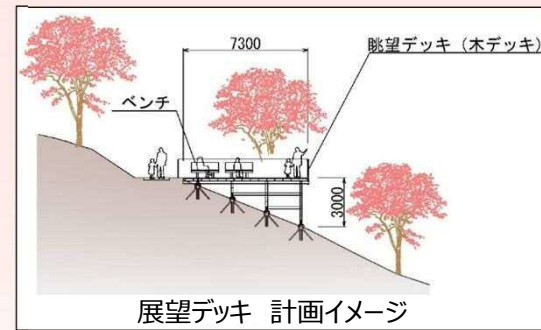
竜田のモミジとサクラの景観を“見て、体感”できる視点場の整備を実施します。

視点場は、サクラやモミジの景観や水面に移る四季の情景など、印象的な「景」となるポイント11か所を設定します。

また、視点場をつなぐ園路整備や写真撮影スポットとなる眺望デッキ、案内サインの設置など、「景」をめぐる楽しさを演出します。



●展望デッキ設置箇所の現況写真



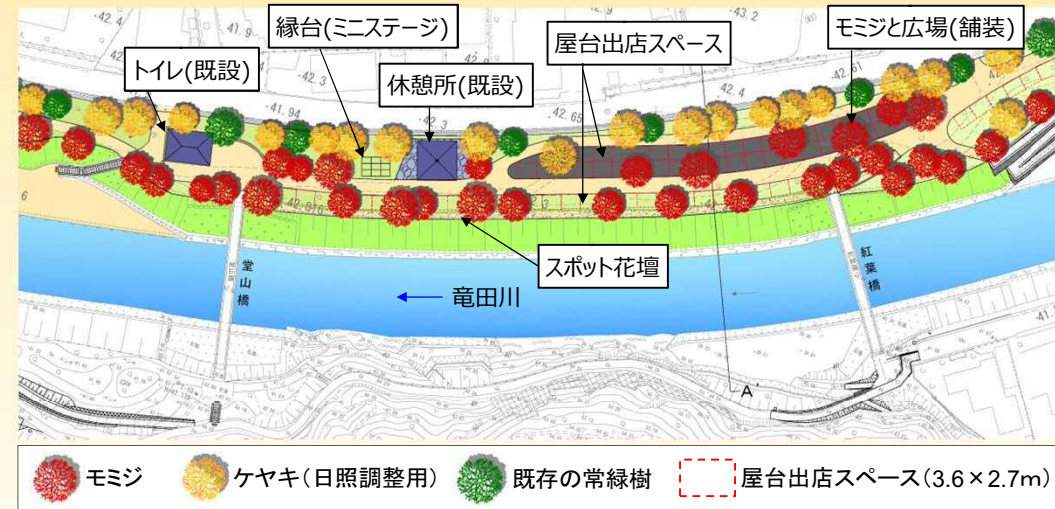
●広場スペースの現況写真

●花の景を楽しむ「スポット花壇」・広場スペースの整備

整備方針-②③④

一年を通じて季節の植物を楽しめ、地域コミュニケーション創出にもつながるスポットとして「スポット花壇」を整備します。

イベントなどに活用できる広場スペースの整備を行います。広場スペースは、イベント時には屋台等の出店やミニステージなどに利用できるようにします。



●スポット花壇と広場スペースの配置イメージ

●公園の安全性・快適性の向上

整備方針-④⑤⑥⑦

公園の安全性・快適性の向上を目的に、次の取り組みを行います。

＜ハード事業① 安全対策＞

- ◆ 三室山の園路整備と併せて急傾斜地（レッドゾーン指定地）の崩落防止・安全確保を図ります。
- ◆ 安全な園路のバリアフリー整備(段差の解消、手すりの設置、舗装の改修等)を行います。
- ◆ ベンチやトイレ等の老朽化施設の更新を行います。

＜ハード事業② 快適性向上＞

- ◆一周約3.5 k mの公園園路を活用し、園路改修・健康器具の設置・ルート表示等を行い、快適な散策ルートの再整備を行います。
- ◆主要な公園入口部のゲートサイン等や歴史啓発サイン等を設置します。
- ◆斑鳩町の歴史街道散策ネットワークへと周遊を促すサイン等を充実させ、周辺の歴史観光資源との連携を図ります。
- ◆ベンチ等の休憩施設を充実させます。

＜ソフト事業＞

- ◆観光時期における駐車場不足への対応として、公共交通による来訪の呼びかけや周辺駐車場との連携を行う。
- ◆地元ボランティア団体や周辺教育機関との連携（教材園としての利用、水辺の学校など）を図ります。